

# 兵庫消防

発行所  
公益財団法人兵庫県消防協会  
神戸市中央区下山手通4丁目16番3号  
編集発行人 岸野 雅信

おうち時間  
家族で点検  
火の始末



赤穂市消防出初式一斉放水

## 令和四年新春メッセージ 躍動する兵庫、 コロナを乗り越え未来へ

兵庫県知事

齋藤元彦

新年あけましておめでとう  
ございます。

昨年も新型コロナウイルスが私たちの暮らしに大きな影響を及ぼしましたが、県民・事業者・医療関係者の皆様のご協力により、第五波を乗り越えることができました。

しかし、感染再拡大のリスクは続きます。マスク着用、手洗い、「密」の回避など基本的な感染対策の徹底を引き続きお願いします。県としても、保健所や医療提供体制の強化、三回目のワクチン接種の推進など、対策に万全を期

します。

同時に、「ワクチン・検査パッケージ」等も活用しながら、飲食、旅行、イベントなど、社会経済活動との両立も図ってまいります。

さらに、今年はポストコロナ時代を見据えた取組を本格的に検討・推進する年とします。

その一つは、時代の潮流であるデジタル化やグリーン化の加速。デジタル技術を、働き方、教育、医療・介護、地場産業や農業など様々な分野

で取り入れるとともに、再生可能エネルギーの導入拡大や水素の活用などの地球温暖化対策に力を入れます。

また、少子高齢・人口減少社会への対応や、頻発化・激甚化する自然災害への備え、交流と日常生活を支える道路ネットワークの整備など、すべての県民の皆様が安心して育ち、働き、暮らし続けられる、だれも取り残さない兵庫づくりを進めます。

大きなポテンシャルを持つベイエリアの活性化にも本腰を入れます。二〇二五年大阪・関西万博は、兵庫に人・



## 新年のあいさつ

公益財団法人

兵庫県消防協会

会長 岸野 雅信

令和四年の新春にあたり、謹んでお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、引き続き予断を許さない状況が続きますが、消防団員、消防職員並びにご家族の皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素より、当協会の運営や活動に対し、格別のご理解とご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。日々厳しい訓練を重ねられ、地域住

民の生命と暮らしを守るため、献身的にご尽力されておられますことに対しまして、心より敬意を表するとともに、新しい年を迎え、消防人としての誇りを胸に、地域を守る決意を新たにされていることと存じます。

さて、我が国を見渡しますと、多発する災害はもとより、人口減少、超高齢化、温暖化、経済構造の変容など、私たちの前には大きな課題が山積しています。そういった社会環



境の変化の中にあっても、消防団の存在意義は不変であり、引き続き地域防災力の中心となつて、消防団が継承されて行くべきであると考えます。

私たちは、より一層強固な消防・防災体制の構築にむけ、挑戦を続ける必要があります。消防職員・消防団員の皆様におかれては、県民の安全・安心の確保のため、今後とも心身の鍛錬、技術の錬成に努められ、ご精励いただきますようお願い申し上げます。

モノ・投資を呼び込む大きなチャンスです。更なる発展の起爆剤とすべく、ベイエリアプロジェクトの起動、万博の来場者を県内各地へ誘うフィールドパビリオンの具体化など、新たなチャレンジをしていきます。

もとより、こうした取組は行政だけでできるものではありません。民間との連携をこれまで以上に広げていきます。また、私自身が県内各地で地域の皆さんと対話を重ね、地域の課題やニーズを新たな施策に繋げていく県民ボトムアップ型県政を推進します。

「躍動する兵庫」の実現に向け、飛躍の一年としていく決意です。

皆様のご理解、ご支援をお願いいたします。

当協会といたしましても、消防の持つ役割の重要性を深く認識し、地域の安全・安心の確保のため各種事業を引き続き積極的に推進します。本年も引き続き消防団の活性化を図り、社会環境の変化に即した消防団の充実に傾注してまいりたいと考えておりますので、皆様方におかれましては、なお一層のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新型コロナウイルスの収束と、今年一年が災害のない平穏な年であることを祈願し、県下の消防団員、消防職員の皆様のご活躍、ご健勝をお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

# 年 頭 の 辞

消防庁長官

内藤 尚志



令和四年の新春を迎えるに当たり、全国の消防関係者の皆様に謹んで年頭の御挨拶を申し上げます。皆様方には、平素から消防防災活動や消防関係業務などに御尽力いただいております。心から敬意を表し、深く感謝申し上げます。

また、新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、消防職団員の皆様には、災害対応の最前線で御尽力をいただき、重ねて感謝申し上げます。

昨年、七月三日に発生した静岡県熱海市での大規模な土石流災害及び八月一日からの大雨による災害に見舞われ、また一二月には大阪市でビル火災が発生した事などにより、多くの方々が犠牲にな

りました。  
お亡くなりになられた方々の御冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心から御見舞い申し上げます。

災害現場においては、被災地の消防本部や地元消防団はもとより、被災状況により県内消防応援隊や緊急消防援助隊も総力を挙げて最前線での活動等に当たっていただき、多くの人命を救助していただきました。改めて皆さんの御活躍・御尽力に敬意を表しますとともに、心から御礼申し上げます。

大規模化、複雑・多様化として顕発化している災害に適切に対応するためには、その

時々の災害対応を教訓として速やかに次に備えることが求められます。そのため、消防庁では、熱海土石流災害を踏まえて被害規模の早期把握と迅速な人命救助のための必要な手順確立とハイスペックドローンや小型救助車をはじめとする資機材の整備に取り組みます。あわせて、緊急消防援助隊の車両資機材の充実強化に取り組みるとともに、地域防災力の中核となる消防団及び自主防災組織等の更なる充実強化に取り組みます。とりわけ、団員減少が危機的な状況にある消防団については、団員の出勤報酬など処遇の改善を図るとともに、各市町村が処遇改善を進めるうえで必要な財政措置を講じてまいり

ます。

また、災害時における地方公共団体からの被害情報収集を迅速化・効率化するためのシステム構築や消防指令システムの高度化などにより、消防防災分野のデジタル・トランスフォーメーションを推進するとともに、震度情報ネットワークシステムの機能強化など災害に強い防災情報基盤の整備に取り組みます。

さらに、救急隊員の感染防止対策や必要な救急資器材の確保を推進するとともに、救急搬送体制の充実強化を図ります。併せて、電話で救急相談サービスを提供する「＃七一一九」や聴覚・言語機能障

害をお持ちの方が音声によらずに一一九番通報を行える「Net一一九」の全国展開「救急ボイストラ」の活用も促進してまいります。

加えて、火災予防対策の推進、消防防災分野における女性の活躍促進、地方公共団体の危機対応能力の強化など、消防防災行政の一層の推進に取り組みまいります。

皆様方におかれましては、国民が安心して暮らせる安全な地域づくりとそれを支える我が国の消防防災・危機管理体制の更なる発展のため、より一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様の益々の御健勝と御発展を祈念いたしました。年頭の挨拶とさせていただきます。

# 新年おめでとーいございます

公益財団法人 日本消防協会

会長 秋本 敏文



新年に当たり、通常は、まず「おめでとーいございます」とごあいさつ申しあげるのですが、最近の様子では、そのように単純に申しあげてよいものかと思っております。

しかし、今年が兵庫県の皆様にとってよい年でありませうとお祈りする気持ちで「おめでとーいございます」と申しあげさせていただきます。

「最近」と申しあげますと、まず新型コロナウイルス問題を思い浮かべるのでしょうか、消防防災関係の方々、それだけではなく、これまでと様相を異にする災害発生を思い浮かべるのではないのでしょうか。

そして、兵庫県の方々にとっては、もう四半世紀経過したとはいえ、阪神・淡路大

震災の時のことは忘れられないでしょう。大都市直撃の大規模地震で、消防の世界では緊急消防援助隊創設による全国的な支援体制の整備をスタートさせるなど大きな経験となりました。

そうした経験を積み重ねるなか、特に最近、これまでとは様相の異なる大雨などの自然災害、フェーン現象下の

大火など、さまざまな大規模災害が頻発しています。そして、その被害は広域にわたるものだけでなく、土石流災害のように、いわばピンポイントの特定の地域でのものもあります。

そして、今建設を進めています新しい日本消防会館は、令和六年五月完成とともに、日本消防の総合的な中核拠点

として日本消防の発展にお役に立てるものとし、また全国各地自治体の自治発展にも貢献できるものになければなりません。全国の消防関係の方々のご支援に感謝しながら、今年も完成に向けて努力いたします。

最後に、兵庫県内各地の無事平穏、兵庫県消防の皆様のご健勝ご多幸を心からお祈り申しあげ、新年のごあいさつとさせていただきます。

# 新年のご挨拶

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

公益財団法人 兵庫県消防協会  
令和四年元旦

- |         |       |
|---------|-------|
| 総 裁     | 齋藤 元彦 |
| 副 総 裁   | 片山 安孝 |
| 名 誉 会 長 | 岸谷 義雄 |
| 会 長     | 岸野 雅信 |
| 副 会 長   | 採田 芳博 |
|         | 安満 真哉 |
|         | 安達 哲哉 |
|         | 中西 君一 |
|         | 坂本 信嘉 |
|         | 吉田 清光 |
|         | 西岡 安雄 |
|         | 田畑 幸生 |
|         | 曾谷 哲也 |



# 令和三年秋の叙勲(消防関係) 13名が受章

令和三年秋の叙勲が一月三日に発令されました。叙勲の受章者(消防関係)は、全国で六一三名、うち兵庫県では、本消防吏員・元消防団員併せて一三名が叙勲の榮に浴されました。

受章された方々は、永年にわたり国民の生命、身体及び財産を火災等の災害から防御するとともに、幾多の災害に對して、率先して敢然と立ち向かわれ、地域の安全・安心の確保に尽力されました。また、消防力の強化、充実に努めるとともに、消防の発展に貢献し、社会公共の福祉の増進に寄与されたこと等、これまでに抜群の功績により、その榮譽に輝かれました。

今回の叙勲の伝達式は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止となりました。

なお、全国の消防関係受章者数、勲章別内訳及び本県の受章者は次のとおりです。  
(敬称略)

### (全国消防関係受章者数)

瑞宝中綬章	二名
瑞宝小綬章	二七名
旭日双光章	六名
瑞宝双光章	五五名
瑞宝単光章	五二三名
計	六一三名

### 兵庫県下受章者(消防関係)

#### ◎瑞宝小綬章

元伊丹市消防団  
団長 岸谷 義雄

#### ◎瑞宝双光章

元姫路市安富町消防団  
団長 梅田 善幸  
元西宮市消防団  
団長 松本 俊治

#### ◎瑞宝単光章

元神戸市兵庫消防団  
団長 大崎 文雄  
元西宮市消防団  
副団長 豆腐谷 一夫  
元西宮市消防団  
副団長 藤田比羅雄  
元姫路市家島町消防団  
団長 坂本 隆博  
元尼崎市消防団  
副団長 岡村 信男  
元尼崎市消防団  
分団長 前田 昌昭  
元淡路市消防団  
副団長 平岡 泰正  
元高砂市消防団  
副分団長 森田 利博  
元宝塚市消防団  
分団長 福田 博文  
元加古川市消防団  
分団長 小原 徹



## 第三七回危険業務従事者叙勲が 令和3年11月3日に発令

### 22名の兵庫県下元消防職員の皆様が消防功労関係で受章

叙勲の榮に浴された方々は、消防職員として国民の命、身体及び財産を火災等の災害から防御するため、永年にわたり著しく危険性の高い業務に精励するとともに消防力の強化、充実に尽力され、消防の発展に貢献し、社会公共の福祉の増進に寄与されました。今回の叙勲の伝達式は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止となりました。

なお、全国の消防関係受章者数、勲章別内訳及び本県の受章者は次のとおりです。  
(敬称略)

### (全国消防関係受章者数)

瑞宝双光章	二八五名
瑞宝単光章	三三六名
計	六二一名

### 兵庫県下受章者(消防関係)

#### ◎瑞宝双光章

元淡路広域消防事務組合  
消防監 大原 耕平  
元尼崎市消防局  
消防司令長 藤岡 俊憲

元西はりま消防組合  
消防監 竹尾 友宏

元姫路市消防局  
消防監 楠田 正人

元川西市消防本部  
消防司令長 辻本 俊和

元姫路市消防局  
消防監 藤田 晃

元加古川市消防本部  
消防司令長 黒田 和成

#### ◎瑞宝単光章

元篠山市消防本部  
消防司令 酒井 雅之

元姫路市消防局  
消防司令長 加茂 功人

元明石市消防局  
消防司令長 杉野 高司

元南但広域行政事務組合  
消防司令 坪内 明

元西宮市消防局  
消防司令 村本 保夫

元神戸市消防局  
消防司令長 森口 和樹

元北はりま消防組合  
消防司令長 高瀬 正雄

元加古川市消防本部  
消防司令長 橘 政幸

元西宮市消防局  
消防司令 足代 進

元神戸市消防局  
消防司令長 佐藤 義明

元神戸市消防局  
消防司令長 増井 光資

元神戸市消防局  
消防司令長 宮武 靖

元豊岡市消防本部  
消防司令 新谷 孝

元豊岡市消防本部  
消防司令 宮口 俊彦

元尼崎市消防局  
消防司令 米崎 孝俊



## 令和三年 秋の褒章 令和3年11月3日に 発令

消防団員として、永年にわたり消防防災活動に献身的に努力し、消防の発展に大きく貢献した方へ授与される藍綬褒章に神戸市中央消防団の白銀敏孝団長、神戸市兵庫消防団の高田央団長、姫路市夢前町消防団長の本郷貴之団長が受章の榮譽に輝きました。今回の叙勲の伝達式は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止となりました。

なお、全国の消防関係受章者数、勲章別内訳及び本県の受章者は次のとおりです。  
(敬称略)

### (全国消防関係受章者数)

紅綬褒章	三名
黄綬褒章	七名
藍綬褒章	九九名
計	一〇九名

### 兵庫県下受章者(消防功績)

#### ◎藍綬褒章

現神戸市中央消防団  
団長 白銀 敏孝  
現神戸市兵庫消防団  
団長 高田 央  
現姫路市夢前町消防団  
団長 本郷 貴之



# 消防団員応援事業所登録事業について

## (公財)兵庫県消防協会

消防団員応援事業所登録事業とは、「自分たちのまちは自分たちで守る」をモットーに、地域で活動している消防団員を、地域全体で応援する事業です。

令和四年一月現在で四三三件の事業所にご登録いただ

ており、様々な特典やサービスの提供により、消防団活動を盛り上げていただいています。

県内消防団員の皆様は、兵庫県消防協会より各消防団事務局を通じて配布している

「消防団カード」を登録事業所でご提示いただくことで、特典やサービスを受けていただくことができます。ぜひご利用ください。各事業所における具体的な特典やサービス内容、事業所の情報については、兵庫県消防協会のホームページ上、

「消防団員応援事業所」のページに掲載しておりますので、ご覧ください。

また、兵庫県消防協会では、消防団員応援事業所への登録を随時受け付けております。県内事業所の皆様には、各消

防団事務局を通じ、ご登録をお願いいたします。

ご登録についても、兵庫県消防協会ホームページ上、「企業の皆さまへ」のページに説明及びご登録方法を掲載しておりますので、ご覧ください。

### ～特典やサービスを利用する場合の登録事業所についての情報～

【消防団員応援事業所一覧URL】

<https://www.hyogoshoubou.jp/ouen/list/index.php>

【消防団員応援事業所一覧QRコード】



### ～事業所への登録にご協力いただける場合～

【企業の皆さまへURL】

<https://www.hyogoshoubou.jp/hvfc/enterprise/guidance/>

【企業の皆さまへQRコード】



**「消防団員応援事業所」とは?**  
地域の飲食店、物産販売店や事業所などに「消防団員応援事業所」として登録いただき、地域で活動する消防団員に特典やサービスを提供いただくことで、地域全体で消防団活動を盛り上げ、地域の活性化につなげることを目的です。

**サービスの提供方法は?**  
消防団員が「消防団員カード」を提示いたしますので、特典やサービスの提供をお願いします。

**特典やサービスの例**

- ◆食後にドリンク・コーヒー一杯サービス
- ◆ビールは文藝におつまみ(1杯)一席サービス
- ◆購入金額の2%還元
- ◆店内ポイント付
- ◆商品(オリジナルグッズ)プレゼント など

※特典やサービスは必ず登録時、事業所側の対応となります。

**みんなで消防団員を応援しよう!**

登録について  
消防団員応援事業所の登録については、本ホームページの「消防団員応援事業所登録申込書」にて記入の上、事業所が活動する消防団の事務局までご送付ください。

〒120-0011 兵庫県神戸市中央区三宮町1-11-1 兵庫県消防協会  
TEL:078-333-8073 FAX:078-333-8074  
<http://www.hyogoshoubou.jp/>

消防団員応援事業所登録事業チラシ

## われら若手消防団員

親子で守る

「四郷」のまち



姫路市姫路東消防団 四郷分団 桂木 宗徳

我がまち「四郷」は、姫路市に流れる市川の下流左岸に位置し、見野古墳群といわれる古墳時代後期・終末期に造営された横穴式石室をもつ古墳群がある歴史あるまちです。

私は、この生まれ育った四郷のまちを火災や災害から守りたいと強く思い、また、父親が消防団員であったこともあり、消防団員になりました。子供の頃、父親が年末の警戒パトロールのため消防車で巡回している姿を見て、「遅くまで頑張って大変だな」「かっこいいな」と感じたことを今でも覚えております。実際に私が消防団員になった今、父親が昔からこの町を守るため、誇りを持って活動していたんだと、父親の偉大さに改めて気がつきました。

消防団員は、火災が起きないよう日々パトロールを行っていますが、道端に捨てられたたばこの吸殻をみかけた時は、まだまだ住民の方に火災の恐ろしさを伝えきれていないことに不甲斐なさを感じます。

一方で、町の行事で警備にあたる時に、住民の方から「いつもご苦労様です。頑張ってください。」と激励の言葉をいただいたときは、消防団は地元を守る皆さんだと、一層身が引き締まる思いになります。地域のキャッチフレーズは、「夢・古(いにしえ)から未来(あした)へ繋ぐまち四郷」です。住民の方から「いつもありがとう。」と言ってもらえるよう、また、父が守ったこの四郷のまちの未来も守れるよう精一杯頑張っていきます。

# 消防団ピックアップ

## Pick Up!

### 『地域と連携・密着した消防団をめざして』

#### 丹波篠山市消防団



団長訓示

の中でも、平成三〇年四月一日には、消防団発足以来初の女性消防班を組織化し一〇名の入団があり、研修会の司会進行や防火啓発活動において、いつも明るく元気に活躍しています。

消防団の保有車両は、水槽付ポンプ自動車八台、消防ポンプ自動車一台、小型動力ポンプ付積載車四九台を保有し、この

中の水槽付ポンプ自動車については県下の消防団と比較して配備率の高いことが、災害に対する消防力の向上や、団員の意識の高さにもつながっており、市民の安全安心な暮



分団長・新入団員礼式訓練



新入団員礼式訓練

この研修会は、毎年四月末に新しい団員を対象に開催しているもので令和二年は開催を断念し、今年も予定していたものの天候や緊急事態宣言に阻まれ延期に次ぐ延期、団長の『実施したい』思いが天に届いたのか、宣言の解除・制限の緩和が発表され、活動再開への一筋の光が差し込み十一月の開催に至りました。

研修は、天候にも恵まれ、団長、副団長、分団長、そして昨年の新入団員も含めた七六名での開催となりました。その中の団長訓示で、新入団員へ「礼節・規律・団結を

らしのために日々活動しています。

最近の活動は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から活動の自粛や中止の対応をしてきました。そのため操法大会も開催できず、日頃の訓練はもとより団員同士が集まることも制限され活動を実施しづらい状況の中で過ごしてきました。

しかし、昨年の一二月には新型コロナウイルス感染症の拡大が少し落ち着いてきたことにより、令和二年度から開催ができていなかった、新入団員等研修会を開催いたしました。

この研修会は、毎年四月末に新しい団員を対象に開催しているもので令和二年は開催を断念し、今年も予定していたものの天候や緊急事態宣言に阻まれ延期に次ぐ延期、団長の『実施したい』思いが天に届いたのか、宣言の解除・制限の緩和が発表され、活動再開への一筋の光が差し込み十一月の開催に至りました。

近年、全国で災害が多発しているように、わが町でもいつ発生するかわからない状況であり、「明日は我が身」と捉え、災害が発生、または発生する恐れがある場合の対応力を高めていく必要があります。

地元自治会と消防団で連携を密にしながら対処できるように、日頃から被害の減少に向け訓練等を実施していく必要があります。今まで以上に地域の方々と密着した消防団として、より一層活動に邁進してまいります。

今年度のスローガンは「活動は、怪我なく、事故なく安全に！」団員の安全を一番に活動し続けます。

### 『自らの島(市)は自らが守る!』

#### 淡路市消防団

淡路市は、「国生みの神話の島」として知られる淡路島の北部に位置し、東に大阪湾、西に播磨灘と四方が海で囲まれた自然豊かな島です。

古くから御食国・食の宝庫として全国的に知られ、近年では「淡路産」玉ねぎ・牛・海産物等も好評で、明石海峡大橋から訪れる人を迎え入れる玄関都市として、年間を通じて多くの人が来島しています。

また松帆台場や五斗長垣内(ごっさかいと)遺跡ほか数

多くの文化財を生んだことでも知られています。

平成(一七年)の市町村合併により、五町から一市となりました。(消防団も同様体制)

消防団は本部をはじめ旧町から継承した五地区の団組織(二五分団)で構成され、約一、七〇〇名の団員が在籍、年頭の初出式を皮切りに幹部新入団員合同訓練、操法訓練、防災訓練、防火啓発、年末の特別警戒と年間を通じて多様な活動を行っています。

#### 【女性隊プロフィール】

平成二七年四月に消防団女性隊として発足

当初、二六名でスタートした女性隊は今では四四名が在籍(令和三年四月現在)。充実した組織体制が高く評価され総務大臣からの感謝状や県



女性隊による防火パトロールの様子

内で活躍する女性をたたえる「ひょうご女性未来・縹(はなだ)賞」にも選ばれました。本部所属となる女性消防隊は愛称「しずかファイアーズ」として火災予防活動、応急手当普及員を養成しての講座など日頃より災害時の後方支援に備え活動しています。

#### 【ラップ隊プロフィール】

ラップ隊は隊長以下一四名(令和三年四月現在)が在籍しており、歴史は古く発足より六五年を迎えます。団のシンボルであるラップ

隊は、ラップ吹奏を通じて、団員を鼓舞し、市民の防火思想の普及及び高揚を図ることを目的に組織されています。

主な活動としては、初出式、阪神・淡路大震災の追悼行事で活躍、また、団員の規律の維持及び志気高揚を図るとともに吹奏の錬成に励んでいます。



ラップ隊による吹奏の様子

【最後に】一九九五年一月一七日五時四六分、旧北淡町を震源とするM七・三震度七の地震(兵庫県南部地震)が発生。激しい揺れにより、死者・負傷者、家屋の倒壊と甚大なる被害に見舞われました。

発生直後から防災機関はじめ全ての機関が一丸となり対応。なかでも消防団の活動は、旧町の垣根を超えた救出活動から避難所での安全確保や問題等の解決、屋根の補修等々、住民の身近な対応に日々当たっていたことを良き教訓として継承しています。

今後、数十年以内に発生するとされている「南海トラフ巨大地震」や「台風や豪雨による災害」など近年、自然災害の猛威による被害が全国的に多発しています。

さらに二〇二〇年に世界的パンデミックとして被害を及ぼし続けている新型コロナウイルス感染症の拡大も新たな脅威となり消防団組織全体に大きな打撃を与えました。消防団は、これまでの「教訓の再確認」「関係機関との顔の見える関係」組織強化とともに、それぞれが互いに協力・知恵を絞り「自らの島(市)は自らが守る」をポリシーに日々研鑽しています。

# わが町の団長さん

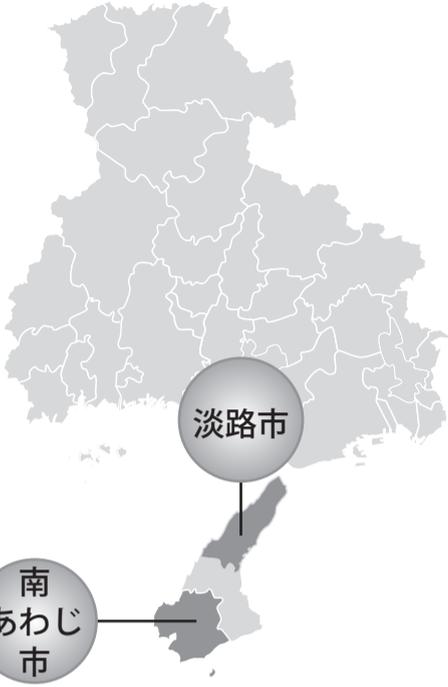
## 「未来へ飛躍！ 輝く淡路市を 目指して」

淡路市消防団

曾谷 哲也



淡路市は淡路島の北中部に位置し、東に大阪湾、西に播磨灘を臨む海と山に囲まれた自然豊かで風光明媚な美しいまちです。  
世界一の吊り橋「明石海峡大橋」を北の玄関口とし、本州から四国を結ぶ大動脈・神戸淡路鳴門自動車道が南北を縦断するほか、西海岸の整備により、京阪神をはじめ各地から多くの観光客が来られます。  
本市は平成一七年に五町が



合併し新たに淡路市消防団が誕生しました。

令和三年四月現在、女性団員四四名を含む総勢一、六九三名を率いる第六代目団長として就任いたしました。

団長は昭和五七年に旧一宮町消防団員として入団、阪神・淡路大震災をはじめ、火災、風水害等、様々な現場で活躍してきました。

これまでの経験を踏まえ、近い将来に発生が予想される南海トラフ地震や大規模な災害に消防団が果たす責務や役割について、日頃から若手団員の育成と組織強化に取り組んでいます。

また、新たな取り組みとして子どもたちの防災意識の向上を図るため、メッセージ動画「防災体操「ぼうさい忍者」」の制作にも積極的に取り組むなど、ユーモアと笑いのセンスも兼ね備え、みんなに愛される人柄です。  
(詳しくは市HPまたはYOUTUBE動画をご覧ください。)

今後は、これまで取り組んでこられたスポーツ部門やまちづくり部門にご尽力された経験をもとに消防団活動を中心に、淡路市制キヤッチアップ「未来へ飛躍！輝く淡路市」の中心的逸材として活躍されることを期待いたします。

## 「シナリオなしの 災害に備える」

南あわじ市消防団

波戸崎 直弘



南あわじ市は兵庫県最南端の市であり、平成一七年一月一日に合併し、現在、人口は約四万五千人で面積・人口とも淡路島最大の市となっています。

南あわじ市消防団は、この南あわじ市誕生と同時に発足。五八分団、団員数二、一八〇人体制で日夜消防活動に精励しています。

波戸崎団長は平成二年に旧南淡町消防団に入団し、平成一四年に分団長。その後、平成二二年には四四歳で選任分団長(階級副団長)を務め、令和三年四月一日より第八代南あわじ市消防団長に就任しました。  
就任後は、新型コロナウイルス感染症の予防策を施し、

消防力強化を目指しました。団員らには事前に内容を伝えずに行うブライインド訓練を実施。災害現場での活動を念頭に置いた実践的な訓練に取り組みようと、七月から一二月までの日曜日に九回開催し、各分団が参加しています。当日

に想定を知った団員らは、選任分団長の指揮のもとに参加し消防ポンプ車や救助用資機材を使った訓練を行いました。消防団幹部や淡路広域消防事務組合署員の指導を受け、訓練中に気づいた問題点を改善しました。

波戸崎団長は、火災だけではなく南海トラフ巨大地震等に備え、「災害はいつ起こるかかわからない。訓練を積み重ねて非常時に動けるように」と団員一人ひとりが安全且つ的確に対応できるように消防団づくりに取り組んでいます。

## 『まちの安心安全を 守るために』

太子町消防団 田村 実優



私が住む太子町は、兵庫県の南西部、播州平野が広がる西播磨の一角にあり、東部から南部は姫路市、北部から西部はたつの市とそれぞれ接しており、聖徳太子ゆかりの歴史と伝統を培う町です。

太子町消防団は消防団五三分団、四一九名の団員が日夜消防団活動に精励しています。

私たち太子町女性消防団員は、平成二七年から新しい消防団の活動として広報活動、予防指導等の部門に女性として活躍する機会が与えられており、男性消防団員とともに広い視点での消防団活動をおこなう機能別消防団員として活動を開始し、現在では、九名の女性消防団員が所属しています。

私は、制服を着用する職業への憧れがあったため、女性消防団員になれば制服が着用できることに感激し、ご縁もあって平成三一年から入団し現在まで活動を実施してきました。

活動内容は主に消防操法大会や太子町消防出初式などの消防団主要行事への参



整列する田村さん

### 編集後記

あけましておめでとうございます。

毎日寒い日が続いておりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルスの影響により、依然として先行きが見えない状態が続いております。そのような中、県内各地で行われる消防出初式においても、規模縮小などの対策をとられている市町が多いようです。このような状況でも、消防団員の皆様は新年を迎えられ、決意も新たに消防団活動に向き合い、邁進されておられることと存じます。

さて、今月号では、各団体の代表者の年頭のご挨拶を掲載しております。また、秋の叙勲等の記事も掲載しております。受章者の皆様、誠にありがとうございます。

本年も引き続き、「兵庫消防」のご愛読をよろしく願います。